# 100年、飛翔のキセキ

学校法人常翔学園は、2022年10月30日に創立100周年を迎えます。

みらいを つくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

次代を見据え、時代に挑み続けたこの軌跡を、
次の奇跡につなげて。
100年先の大空へ、
新たなる挑戦はすでに始まっています。

本学園は、設立者・校主 本庄京三郎、校長・工学博士 片岡安と12人の創設理事などが開校に向け尽力し、1922（大正11）年9月7日、時の大阪府知事 池松時和氏から設置認可を受け創設した関西工学専修学校がそもそもの始まりです。

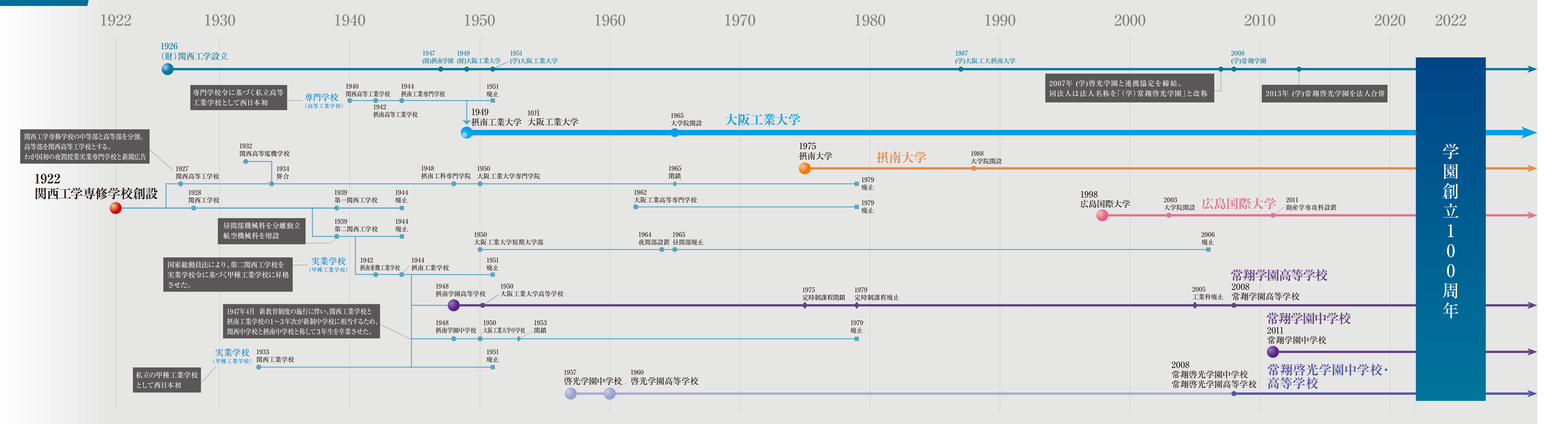
時代と地域の要請に応え、中堅技術者育成を目的に開校した関西工学専修学校は着実にその役目を果たし、多数の卒業生が地域で活躍。それを受け技術者教育を看板としたさまざまな学校を併設する技術系総合学園として展開し、やがて高等教育をも担うまでに発展しました。現在では、大阪工業大学・大学院、摂南大学・大学院、広島国際大学・大学院、常翔学園中学校・高等学校、常翔啓光学園中学校・高等学校を設置する総合学園へと成長を遂げ、約2万5千人の学生・生徒が学んでおり、延べ約31万人の卒業生が社会の各分野で活躍しています。

2022年、学園は創立100周年を迎えます。永い歳月の中、常に「変わらない信念」を抱き続け、そして、時代の要請に応え「変わり続ける」ことで、常翔の名の如く飛翔100年という大きな節目を迎えます。

## 学園のあゆみ *Since1922*

### 建学の精神

世のため、人のため、地域のため、
理論に裏付けられた実践的技術をもち、
現場で活躍できる
専門職業人を育成する。




## 大阪工業大学history *Since1949*

### 100年続く伝統の実学教育。時代の先端を担う人材を育成

戦後の学制改革による新教育制度のもと、新制大学として1949（昭和24）年に開学した大阪工業大学は、旧制専門学校の意志を受け継ぎ、多くの技術者を社会に送り出してきました。そして今、大阪工業大学は先端技術の研究と社会の課題を解決する伝統の実学教育において、グローバルな活動を積極的に行い、「世界で活躍できる専門職業人」の育成に力を注いでいます。

■ 教育の理念

社会・時代の要請に応え、専門学術の基礎と実践的応用力を身に付けるとともに、広い視野と豊かな人間性を涵養し、新しい知的・技術的創造を目指す開拓者精神にあふれた、心身ともにたくましい専門職業人を育成する。

## Message from the President

学長 井上 晋（いのうえ すすむ）

### 多様化する未来社会に貢献できる人材の育成

大阪工業大学は開学以来、社会・時代の要請に応え、新しい知的・技術的創造を目指す開拓者精神にあふれた、心身ともにたくましい専門職業人を育成することに努めてまいりました。社会全体がSociety5.0の実現に向けて動き出した現在、IoT、ロボット、AIやデータサイエンスなど、最先端の知識と技術を駆使して社会に貢献することができる人材を育成することが、これまでにも増して重要となります。多様化する社会のニーズに応え、持続可能な社会を実現するためには、自ら考え行動する力、他者の考えを聞き協働する力が要求されていると言えるでしょう。学園創立100周年を迎えるにあたり、大阪工業大学は更なる飛躍と社会貢献を目指して改革に努めてまいります。

開学式典

1950年頃

1960年頃

1970年頃

1980年頃

1990年頃

情報科学部開設当初

知的財産専門職大学院開設記念シンポジウム

ものづくりセンター開所式

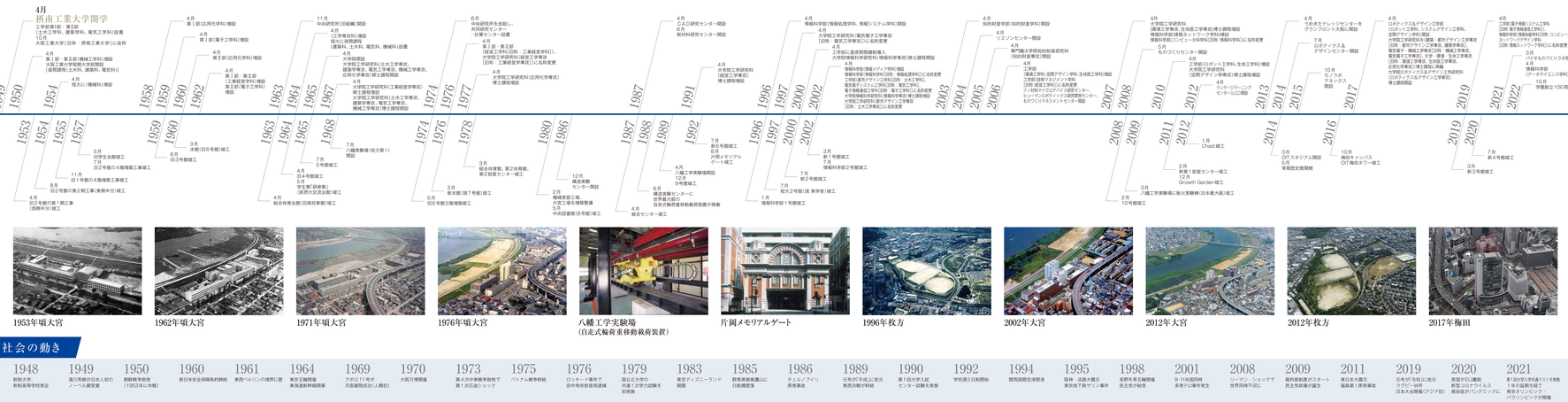


モノラボアネックス開設時

ソーラーカーブロジェクト（2018年）

RDクラブ（2019年）








1953年頃大宮



1962年頃大宮



1971年頃大宮



1976年頃大宮



八幡工学実験場
（自走式輪荷重移動載荷装置）



片岡メモリアルゲート



1996年枚方



2002年大宮



2012年大宮



2012年枚方



2017年梅田

## 社会の動き

1948 新制大学、新制高等学校発足
1949 湯川秀樹が日本人初のノーベル賞受賞
1950 朝鮮戦争勃発（1953年に休戦）
1960 新日米安全保障条約締結
1961 東西ベルリンの境界に壁
1964 東京五輪開催 東海道新幹線開業
1969 アポロ11号が月面着陸成功（人類初）
1970 大阪万博開催
1973 第4次中東戦争勃発で第1次石油ショック
1975 ベトナム戦争終結
1976 ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕
1979 国公立大学の共通1次学力試験を初実施
1983 東京ディズニーランド開園
1985 都馬原新東風山に日航機墜落
1986 チェルノブイリ原発事故
1989 元号が平成に改元 東西ベルリン壁崩壊
1990 第1回大学入試センター試験を実施
1992 学校週5日制開始
1994 関西国際空港開港
1995 阪神・淡路大震災 東京地下鉄サリン事件
1998 長野冬季五輪開催 民主党が結党
2001 9・11米国同時多発テロ事件発生
2008 リーマン・ショックで世界同時不況に
2009 裁判員制度がスタート 民主党政権が誕生
2011 東日本大震災 福島第1原発事故
2019 元号が令和に改元 ラグビー日本 日本大会開催（アジア初）
2020 英国がEU離脱 新型コロナウイルス感染症がパンデミックに
2021 第1回大学入学共通テストを実施 1年の延期を経て 東京オリンピック・パラリンピックの開催

## 片岡安初代校長による創設期生徒へのメッセージ

私が言う「立派な人」とは選びも尊敬する各方面より見て得がたい、頼もしい人となって欲しいのであります。これが国家社会の要求する人であり、家族友人も要求するところの人であります。

かくのごとく人となるには如何にすればよいかと申しますに、そもそも人は努力、心掛けによって全知全能に近いものになりうるのであります。人にあってはその能力を伸ばし得るものと伸ばし得ないものとがあります。ある程度までしか伸び得ぬ人もありますが、すべての困難を排して近づかんとする真剣味のある人はその目的を達することができるのであります。ちょうど、一歩一歩を踏みしめて山に登るようなものであります。これは人生の極致であります。このような人は野心大望を持たなくても周囲より尊敬され指導者となり得る人であります。人を指導する人になり得ることも少なくともその周囲の人々の指導者となり、明星となり得るのであります。

かかる人はやがて大いなる星となり得るに足るべきであります。（中略）諸君も一歩一歩緊張味を持って自己のベストを尽くしてやっていれば、やがて、向上発展の道が開けて来るのであります。最初から五段も六段も跳び上がるというようなことを期待するのは間違いであります。こうして終局において高いところから大きい範囲を支配し得るに至るのであります。

―関西高等工学校卒業式訓示から―

「立派な人、明星となれ、そして大いなる星に向かえ。そのために、自らの一歩一歩に緊張味を持ってベストを尽くせ！」

本庄 京三郎
ほんじょう きょうざぶろう
設立者・校主
1868年現山梨県生まれ。1891年東京法学院（現 中央大学）卒業。日本有数の高級住宅地として知られる西宮市甲陽園の開発をはじめ多くの企業経営に携わるなど、新しい街づくり先進の文実業家でした。

片岡 安
かたおか やすし
初代校長・理事長
1875年石川県生まれ。1897年東京帝国大学工科大学（現 東京大学）卒業。大阪市中央公会堂をはじめ、数多くの建築設計に関わる。日本建築協会、大阪工業会理事長、京都帝国大学講師など教育の面でも都市計画のパイオニアでした。

## 学校創設の時代背景

### 時代は技術者育成を急がせた。

大正期から昭和初期の大阪市は、これまで築いてきた商工業都市としての基盤に加え、市域の大幅な拡張もあって人口や経済規模において東京市を凌駕し、日本で最も繁栄する都市へと急速な発展を遂げました。

1925年、大阪市の人口は東京市を抜いて日本一。「大大阪」と呼ばれる都市は東洋一、世界第6位による規模となった。

| | | |
|---|---|---|
| 第1位 | ニューヨーク | 597万人 |
| 第2位 | ロンドン | 455万人 |
| 第3位 | ベルリン | 403万人 |
| 第4位 | シカゴ | 310万人 |
| 第5位 | パリ | 290万人 |
| 第6位 | 大阪市 | 225万人 |
| | 東京市 | 214万人 |

（昭和2年当時の人口順位）（大阪市統計書第25回（昭和2年度））

都市には産業の根幹を担う生産拠点ができ、人々が流入してきました。そのようななかで工場では、ものづくりの組織を指揮するとともに自らものづくりを実践できる者が、また都市基盤整備事業においては、設計から現場での監督までもこなせる者が求められていました。しかし、産業界の急速な近代化に対応できる技術者の数が不足し、即戦力となる技術者の養成が急がれました。

当時、わが国の工業教育に対する認識は浅く、特に商業中心の大阪での工業教育機関は微々たるものに過ぎませんでした。このような時代に、将来、工業技術者の必要な時代が必ず到来することを察知し、私立学校の経営では最も難しいといわれる工業教育に、あえて踏み切った関係者のパイオニア精神は注目に値します。

「急速な発展により、産業を支え、あるいは都市としての基盤整備を担う技術者が絶対的に不足。」